



## 常勤換算ってなに？



A. 従業員の数を常勤の従業者の員数  
に換算することだよ。

常勤換算を考えると、事業所の従業者の週平均の勤務時間数を、事業所の常勤従業者が1週間に勤務すべき時間数で割るんだ。

これによって、事業所の従業員の数を常勤の従業者の員数に換算するよ。

1週間に勤務すべき時間数が32時間を下回るときは、32時間を基本とするよ。

たとえば、事業所の1日の勤務時間が8時間で、1週間の勤務時間が40時間とするね。

毎日出勤して、週に40時間勤務していたとする。

$40\text{時間(勤務時間数)} \div 40\text{時間(勤務すべき時間数)} = 1.0$

常勤換算では1.0になって「常勤」となる。

また、1週間の勤務時間が20時間の人だったら

$20\text{時間(勤務時間数)} \div 40\text{時間(勤務すべき時間数)} = 0.5$

常勤換算では0.5になるので「非常勤」ということになるんだ。

勤務時間数は、就業規則の規定と合わせる必要も出てくるよ。

制度なんかで、常勤を1名置く、と定められている場合の1名とは、上のことを言うよ。

### 《MENU》

[《苦情があったらどうするの？》](#)

[《個別支援計画に基づいた支援って？》](#)